

「一枚ポートフォリオ」を活用した授業パターン

基本的な授業パターンと指導のポイント

実践の結果をもとに、読むことにおける「一枚ポートフォリオ」を活用した基本的な授業の流れを考えました。それが、以下のものです。

(1) 魅力的な導入を工夫する。

ワンパターンの機械的な導入にならないように、学習課題へと直結し、意欲を喚起するような工夫をする。

(2) 生徒が主体的に学習課題を把握できるようにする。

生徒が学習への期待感と「やれるかな」という少しの抵抗感をもてるように、提示の仕方と課題の文言を吟味する。

(3) 学習範囲を音読する。

様々な音読のバリエーションを使って、課題の解決へ向けて生徒が思考できる契機、土台づくりとなるようにする。

(4) 学習課題に対する自分の考えを個人でノートにまとめる。

絞り込んだキーワードをもとに、発問を吟味し、個人でじっくりと考えさせる。その際、効果的に机間指導を行い、つまずきに対応したり全体の場合での意図的指名等につなげたりする。

(5) 個人の考えを交流し、班で練り上げる。

個人で書いた内容を班で発表し合い、互いに意見交換を行う。ここでも、机間指導を行い、意見交換が充実するように働きかける。

(6) 全体の場合で共有し、更に練り上げる。

挙手による指名、つぶやき、意図的指名など、教師によるコーディネートを行い、班で出された意見を全体の場合で共有し、更に練り上げる。

(7) 学習課題に対する自分の考えを「一枚ポートフォリオ」にまとめる。

学習の結果、深まったり、広まったりした自分の考えをまとめる。机間指導を行い、全体で取り上げたい考えや意見を確認する。

個人から班、班から全体、そして最後に個人に戻すことで、多くの考えに触れる機会を設け、そこで出た意見をもとに自分の考えをまとめることができます。一枚の紙面にまとめることで、自分の学びの蓄積が可視化され、次の学習意欲へとつながります。読解力と表現力の育成には、このような積み重ねが大切です。